



秋田県知事表彰を受賞した藤本得夫さん。



秋田県知事表彰を受賞した鈴木信也さん。



厚生労働大臣表彰を受賞した(株)安藤醸造。



入選した神代小学校の船山実倫さん。



特選に輝いた角館小学校の新田淳仁さん。



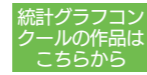
秋田県知事表彰を受賞した千葉礼子さん。

統計に関して功績のある個人および団体を表彰し、統計への認識を深める目的で、11月30日に秋田県庁において令和4年度秋田県統計功労者表彰式が開催されました。

仙北市からは、毎月勤労統計調査に協力された事業所として、株式会社安藤醸造が厚生労働大臣表彰を受賞しました。個人では長年の統計調査における功績が認められ鈴木信也さん（角館町田町上）、

藤本得夫さん（田沢湖岡崎）、千葉礼子さん（田沢湖生保内）が秋田県知事表彰を受賞しました。

また、第72回秋田県統計グラフコンクールでは、小学校3・4年生の部で角館小学校4年の新田淳仁さんが特選に、小学校5・6年生の部で神代小学校5年の船山実倫さんが入選しました。



統計グラフコンクールの作品はこちらから

市民公開講座  
「いつまでも自分らしい人生となるために」  
終活などについて考える

12月3日、市民公開講座「いつまでも自分らしい人生となるために」が西木温泉ふれあいプラザクリオンで開催され、事前に申し込みのあった約100人が参加しました。

当日は、講演とパネルディスカッションが行われ、(株)丸栄堂の取締役で終活カウンセラーの三浦由妃さんが「いつまでも自分らしい人生となるために」の演題で、終活について講演しました。三浦さんは、「終活という言葉は、2009年に出てきた言葉で、終焉活動、終末活動の略。終活は、人生の終わりに向けた活動として、財産相続の準備や葬儀、お墓などについて決めていく活動をする。終活の言葉は聞くと、縁起でもないと思われるかもしれない。終活をすることは、人生の最後まで自分らしく生きる活動で、亡くなった後も家族は困らない。この取り組みは、年齢に関係なく元気なうちに家族や友人などと話し合うことが重要」と、三浦さんが経験した内容を含めた講演となりました。

その後に行われたパネルディスカッションは、西明寺診療所所長の市川晋一さんを座長に、パネリストとして講演した三浦さんのほか、清流苑居宅介護支援センターの佐藤美恵子管理者、大曲厚生医療センター緩和ケア認定看護師の小松英樹さんが参加し「いつまでも自分らしい人生となるために」のテーマで意見交換しました。



終活について講演する三浦さん。

秋田県芸術文化章  
高橋キヌ子さんが  
芸術文化章を受章

秋田県芸術文化章（一般社団法人秋田県芸術文化協会主催）に高橋キヌ子さんが選ばれ、12月15日、秋田市で授章式が行われました。

高橋さんは、秋田おぼこ節を全国に広めた「佐藤貞子」の最後の弟子として、昭和22年から24年晩秋まで共演し、手踊りを習得。全国巡業で得た各地の踊りを後世に伝承するため、これまで300人以上に指導し、踊りの楽しさを伝えてこられました。このような活動が「民謡王国秋田の礎を築いた功労者の一人である」として受賞されました。

授章式では「皆さんのおかげでいただいた章を力に、これからも踊り伝え続けてまいります」と、力強く話しました。また、秋田県民謡協会の伴奏と地元出身で民謡歌手の熊谷信子さんの唄で、高橋キヌ子社中の踊りも披露されました。



受章した高橋キヌ子さん。



実践空手道  
武心会  
全国大会へ出場

12月8日、実践空手道 武心会に所属する選手4人と指導者の湯澤浩一師範が市役所田沢湖庁舎を訪れ、全国大会の出場を田口市長へ報告しました。

11月20日、国立代々木競技場第一体育館（東京都）で行われた文部科学大臣杯・第16回JKJO全日本ジュニア空手選手権大会に佐々木雄さん（角館・中学1年男子52kg以上の部）と、新田淳仁さん（角館・小学4年男子30kg以上の部）が出場しました。この大会は、3月に行われた東北予選大会で優勝し、代表権を獲得しての出場となりました。

12月11日、東京都練馬区緑が丘体育館で開催の第4回JKOA全日本空手道選手権大会に出場の高橋凛さん（西明寺・小学6年女子40kgの部）も東北予選大会で優勝して全国大会の代表権を獲得しています。

11月27日、宮城県栗原市で開催された第5回W・K・Oジャパンアスリートカップ東北選抜大会で優勝した新田悠仁さん（角館・中学1年男子50kg未満の部）は1月29日にエディオンアリーナ大阪（大阪府）で行われる全国大会の代表権を獲得しました。

全国大会に出場した新田淳仁さんは1回戦を勝利したものの2回戦で敗退。また、佐々木雄さんは「愛知県県の選手と対戦し初戦敗退になってしまった。対戦相手は、東北とは違う戦い方で鍛え方が違うと実感した」と、全国大会の感想を話しました。



左から田口市長、湯澤浩一師範、佐々木雄さん、高橋凛さん、新田悠仁さん、新田淳仁さん、赤上副市長。

第38回全日本ECC中学生英語暗誦大会  
伊藤葉琉さん（角館中・3年）が金賞



金賞に輝いた伊藤葉琉さん。

11月20日に松下IMPホール（大阪府大阪市）で開催された第38回全日本ECC中学生英語暗誦大会に出場した角館中学校3年生の伊藤葉琉さんが金賞を受賞し、12月9日、教育長に報告に訪れました。

英会話スクールなどを運営するECC外語学院・ECCジュニアが主催する同大会。伊藤さんは銀賞を獲得した昨年連続出場しました。

暗誦は、アップル社が創業したステイブ・ジョブズが生前に残した言葉「Connecting the dots（「ネクトザドット）」をテーマに展開した伊藤さん。

後半は前半の内容を受けて自分の考えを取り入れる構成で、伊藤さんは今自分が何に興味を持っていて、それを深めるために何をすべきかを英語で簡潔に述べました。

他の出場者との違いを出すために、話すスピードや強くする場所などを変えたという伊藤さん。話し終えた時、昨年よりも手ごたえを感じたそうです。

「昨年の銀賞を越えたいと思っていたので、金賞とわかった瞬間は、安心した。そのあとに、嬉しさがこみ上げてきた」と発表時の気持ちを教えてくださいました。

第20回全国スポーツ少年団  
バレーボール大会秋田県大会  
きたつらバレーボールJr.が  
全国大会へ

11月19日・20日、由利本荘総合防災公園ナイアアリーナ（由利本荘市）で開催された第20回全国スポーツ少年団バレーボール大会秋田県大会で、きたつらバレーボールJr.スポーツ少年団が優勝し、3月に静岡県で開催される全国大会への出場権を獲得しました。

12月9日、選手6人と大石美幸監督が市役所田沢湖庁舎を訪れ、田口市長へ全県大会優勝と全国大会への出場権獲得を報告しました。

大石監督は「全県大会はトーナメントで行われ、決勝までは順調に勝ち進んだものの、大曲との決勝戦は1セット目を勝ち、2セット目を逆転され、3セット目は14対8でリードを許し、あと1点を入られると終わってしまう場面まで追い詰められたが、唯一の5年生のサーブで逆転した」と報告。報告を受けた田口市長は「厳しいところからの逆転は素晴らしい、このように子どもたちが活躍する報告はうれしい。全国大会までしっかりと練習し、ケガなどせず全国大会でも練習の成果をしっかり発揮してほしい」と、選手を激励しました。



左から田口市長、草薙夏音さん（白岩小6年）、三浦柚友さん（神代小6年）、齋藤相奈さん（西明寺小6年）、佐藤瑠妃さん（同）、伊藤咲羽さん（同）、佐藤連華さん（神代小5年）、大石美幸監督。